



令和4年 上伊那地域 県政おもなできごと

○令和4年を振り返り、上伊那地域のおもなできごとを選定しました。

3 月

◆大久保橋新橋建設工事の完了【伊那建設事務所】

一般県道栗林宮田停車場線 駒ケ根市～宮田村 大久保橋新橋建設工事が完了し、3月12日に開通式を実施し新橋へ交通を切り替えました。

これにより、駒ケ根市と宮田村間において円滑な大型車通行が可能となり、歩道設置により、沿線住民の更なる安全・安心が確保されました。



4 月

◆看護大学に大塚真理子新学長就任【看護大学】

4月1日に大塚真理子新学長が就任しました。

看護師・保健師・助産師として、多様な文化を理解し地域社会の人々の健康と幸せを守ることに貢献できる看護実践者の育成に取り組めます。



◆駒ケ根高原地域が「里山整備利用地域」に認定【上伊那地域振興局林務課】

4月14日に駒ケ根市駒ケ根高原地域が「長野県ふるさとの森林づくり条例」に基づく里山整備利用地域に認定されました。

これにより利用地域は管内計20箇所、全市町村において認定されました。「長野県森林づくり県民税」を活用しながら里山の整備や利用が進められることが期待されます。



◆伊那バイパス建設事業の部分供用開始【伊那建設事務所】

4月29日に国道153号 伊那市 伊那バイパスにおいて、安全祈願式を行い、伊那市野底～福島間約1.4kmの供用を開始しました。

このバイパスの整備により、現道の交通渋滞の緩和、災害時等の中央自動車道の代替機能の確保、リニア中央新幹線長野県駅へのアクセス強化が期待されています。

引き続き、残る約3.1kmの早期完成を目指し事業を進めてまいります。



5 月

◆スマート農業技術の利用広まる【上伊那農業農村支援センター】

AI、ICT、ロボット技術等を活用したスマート農業の普及促進のため、5月24日に自動運転田植機の実演会を駒ヶ根市で開催しました。参加者はロボット化された無人機による田植作業に高い関心を示していました。

また、管内ではこのほかにも、農薬散布用ドローンやリモコン草刈機、牛の分娩監視システムなど先端農業機械の導入が進んでおり、農作業の労力軽減と生産性向上が期待されています。



6 月

◆上伊那管内の県税収入歩合が過去最高を記録【南信県税事務所】

令和3年度出納閉鎖の結果、上伊那管内の県税収入歩合が、前年度を0.3ポイント上回る99.3%と、過去最高となりました。

好調な企業業績が法人二税の収入歩合に反映されたことや、市町村と連携して徴収対策に取り組んだこと等によります。

◆第50回上伊那都市植樹祭を宮田村で開催【上伊那地域振興局林務課】

6月1日に令和4年度上伊那都市植樹祭（第72回長野県植樹祭）を、標高1,650mにある宮田高原キャンプ場内で開催しました。

当日は中央アルプスを望める快晴の中、関係者約100名がレンゲツツジの苗木1,000本を植栽し、森の恵みを次世代に引き継ぐよい機会となりました。



◆伊那西部・中部広域農道沿道の屋外広告物許可地域の指定

【伊那建設事務所】

6月1日に伊那西部・中部広域農道の辰野町、箕輪町、南箕輪村、宮田村の沿道に、県の屋外広告物条例に基づく許可地域の指定が行われ、屋外広告物の設置について規制が始まりました。

（伊那市、駒ヶ根市及び飯島町の沿道は独自規制）

これにより伊那谷の優れた景観を展望できる路線として調和のとれた屋外広告物の誘導が図られることとなりました。



◆宮の前地区ほ場整備事業の完了【上伊那地域振興局農地整備課】

長野県が事業主体となり、平成28年度から駒ヶ根市赤穂宮の前地区で進めてきたほ場整備工事が6月14日に完成しました。

また、新しい地番となった農地を農家の皆さんの権利に移行するための登記手続きも完了し、事業完了となりました。

これにより、担い手への農地集積・集約化が進みました。



7月

◆中央アルプス国立公園利活用の推進【上伊那地域振興局環境・廃棄物対策課】

中央アルプス国立公園指定を契機に、登山道等を重点的に支援する補助事業を活用した整備が進んでいます。

3月の飯島町千人塚公園休憩施設の整備に続き、7月22日には、駒ヶ根市が改修整備した「檜尾避難小屋」がオープンしました。新たな宿泊拠点としての活用が期待されています。

また、7月30日及び31日に第2回目となる「環境スタディツアー」を開催し、管内の小学高学年生と保護者24名が千畳敷カールの貴重な自然環境について学びました。



7月・8月

◆国政選挙、県関係地方選挙の執行【上伊那地域振興局企画振興課】

7月に国政選挙が、8月に2つの県関係の地方選挙が行われました。

7月10日 参議院議員通常選挙

投票率：上伊那 62.08%（全県 57.70%）

8月7日 長野県知事選挙

投票率：上伊那 47.68%（全県 40.94%）

8月7日 長野県議会議員補欠選挙（上伊那郡選挙区）

投票率：上伊那 49.99%



9月～11月

◆農業用水探検隊を開催【上伊那地域振興局農地整備課】

地域の農業水利施設の歴史や役割を小学生に学習してもらうための「農業用水探検隊」を9月～11月にかけて7回開催し、小学4年生及び5年生の延べ237人が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2～3年度は中止したため、今年は3年ぶりの開催となりました。

伊那小学校、辰野南小学校、箕輪中部小学校、箕輪北小学校、南箕輪村南部小学校の5校が参加し、西天竜幹線水路の円筒分水工や、伊那西部第1揚水機場などを見学しながら、農業における水の大切さを学んでもらいました。



10月

◆科学ふれあいフェアを開催【南信工科短期大学校】

10月22日、上伊那産業振興会等からの協力を得て「科学ふれあいフェア2022」を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から参加者を村内小学校2校に限定し、初めての取組として、南箕輪小4年生と6年生の協力によりイベントチラシのデザインコンクールを実施し、フェア当日表彰式を行いました。



◆社会活動家 湯浅誠氏の講演会を開催【上伊那地域振興局総務管理課】

10月31日に信州こどもカフェ上伊那地域子ども応援プラットフォーム及び長野県将来世代応援県民会議上伊那地域会議の合同研修会を開催し、社会活動家 湯浅誠氏をお招きし、『こども基本法の活かし方』～私たちができること～と題して御講演いただきました。

子どもの居場所の現状や課題、解決策などについてお話いただき、会場参加者約120名が熱心に耳を傾けていました。

こども食堂を地域コミュニティづくりの拠点として位置付けていく必要性について再認識し、子どもの健全な育ちのために我々が何ができるのかを考える契機となりました。



10月～11月

◆信州大学農学部の農村整備演習に参加【上伊那地域振興局農地整備課】

信州大学農学部の「農村整備演習」に農地整備課職員が講師として参加しました。

この演習は、農山村地域の抱える課題に対応するための地域の計画技術的整備手法を学ぶもので、全15回のうち5回の演習に参加しました。

農業農村整備に係る行政の仕事内容などについて、実際の現場に出向き演習を行うとともに、若手職員との意見交換などを通じて、理解を深めてもらいました。



11月

◆信州大学農学部との連携協定を締結【南信工科短期大学校】

11月4日に、工科短期大学校及び南信工科短期大学校は、信州大学農学部と、教育・研究・地域貢献等に関する連携協定の署名式を行いました。

今後、学術及び産業の発展とともに人材育成に、連携し協力して取り組みます。



◆第2回伊那谷 de キャリア教育研修会を開催

【上伊那地域振興局企画振興課】

リニア中央新幹線の開通を見据え、伊那谷が一丸となって人材育成を進めていくため、11月19日に宮田村民会館において第2回伊那谷 de キャリア教育研修会を開催しました。

上伊那地域・南信州地域の教育関係者や行政関係者など144名の方に参加いただき、哲学者・作家の内山節先生による講演やグループワークを通し、交流を深めました。



◆上伊那郡西天竜土地改良区 100 周年記念式典が挙行

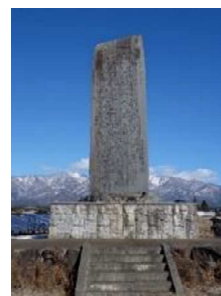
【上伊那地域振興局農地整備課】

上伊那郡西天竜土地改良区が設立 100 周年を迎えたことを祝い、11 月 28 日に記念式典が挙行されました。

西天竜土地改良区は、大正 8 年 11 月 27 日に、上伊那郡西天龍耕地整理組合として県の認可を受けてから 100 年余、国内外の社会情勢や生活環境、食糧事情など、農業を取り巻く環境の目まぐるしい変化の中で、西天竜地域の「農」と「水」を守られてきた由緒ある土地改良区です。

幹線用水路では県営事業による改修を実施するとともに、県企業局による農業用水を活用した水力発電が行われています。

これからも末永く御発展されることが期待されます。

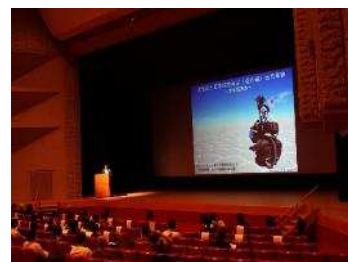


◆第 1 回自転車まちづくりフォーラムを開催【上伊那地域振興局商工観光課】

かつて塩が運ばれていた新潟と長野、静岡を結ぶ古道「塩の道」を、自転車による観光振興に活用する動きを本格化させるため、「地域発 元気づくり支援金」を活用し、11 月 29 日に辰野町で第 1 回目となるフォーラムが開催されました。

県内外から約 100 名の関係者が集まり、塩の道の魅力や活用方法等について活発な意見交換を行いました。

また、翌日 11 月 30 日には塩の道の一部の旧中山道（辰野町一岡谷市一諏訪町）を自転車で試走する会が開催され、約 60 人がサイクリングを楽しみました。



通 年

◆長野県次期総合 5 か年計画（上伊那地域計画）の策定

【上伊那地域振興局企画振興課】

令和 5 年度から始まる新たな長野県総合 5 か年計画（上伊那地域計画）の策定に向け、地域の皆さんの意見をお聞きするため、地域懇談会や若者会議等を開催しました。

3 月 23 日及び 24 日 上伊那地域懇談会

5 月 13 日 【拡大版】上伊那地域戦略会議

8 月 24 日及び 25 日 上伊那若者会議

8 月 31 日 上伊那地域懇談会

9 月 21 日 上伊那地域戦略会議



◆水力発電所の新規建設や大規模改修を着々と推進【南信発電管理事務所】

長野県企業局では、再生可能エネルギーの普及拡大を推進するため、水力発電所の新規建設及び既存発電所の大規模改修を進めています。

- 3月22日 「美和発電所」(S33 建設)の大規模改修工事起工式
- 9月13日 「春近発電所」(S33 建設)の大規模改修工事起工式
- 10月17日 「越百のしずく発電所」の建設工事、「与田切発電所」(S61 建設)の大規模改修工事起工式
- 11月14日 箕輪ダム直下に新規建設した「信州もみじ湖発電所」竣工式



◆県立高校第2期再編に向けた検討【上伊那地域振興局企画振興課】

県立高校第2期再編に向け、伊那北と伊那弥生ヶ丘の再編に係る「伊那新校再編実施計画懇話会」(3月、7月、10月に計3回)と、辰野、箕輪進修、上伊那農業、駒ヶ根工業4校の職業科の総合技術新校再編に係る「上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会」(2~11月に計6回)が開催されました。

新校の将来像等について、高校生、地域住民及び学校や行政関係者など様々な立場の参加者により、活発な意見交換がなされました。

今後も、地域を担う人材を育成するための魅力的・先進的な高校づくりを推進していきます。

◆「新型コロナウイルス感染症」の拡大が継続【伊那保健福祉事務所】

上伊那地域では、年明け早々から感染力の強い「オミクロン株」を主流とする第6波が到来し、1~6月にかけて前年までにない新規陽性者数の増加を見せました。

その後も7月には更に感染力が強い「BA.5系統」に置き換わりさらに爆発的な増加となり、第7波、第8波が相次いで到来しました。また、8~9月及び11月以降には医療非常事態宣言が発出されるなど年間を通じて新型コロナウイルス感染症の拡大にさらされた1年となりました。

県民の皆様には、マスクの正しい着用、正しい手洗い・手指消毒、十分な換気、ゼロ密などの基本的な感染防止対策により、「感染しない。感染させない。」ご協力を引き続きお願いします。

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

ONE NAGANO

みんなでひとつに がんばろう信州

「ONE NAGANO」はみんなで復興に取り組もうという合言葉
一人ひとりがそれぞれの立場で、できることからやってみよう！

担 当：上伊那地域振興局総務管理課 電 話：0265-76-6800 ファクシミリ：0265-76-6804 E-mail：kamichi-somu@pref.nagano.lg.jp	担 当：南信県税事務所総務課 電 話：0265-76-6805 ファクシミリ：0265-76-6809 E-mail：zei-nanshin@pref.nagano.lg.jp
担 当：伊那保健福祉事務所総務課 電 話：0265-76-6835 ファクシミリ：0265-76-7033 E-mail：inaho-somu@pref.nagano.lg.jp	担 当：伊那建設事務所総務課 電 話：0265-76-6845 ファクシミリ：0265-76-6850 E-mail：inaken-somu@pref.nagano.lg.jp
担 当：看護大学事務局 電 話：0265-81-5100 ファクシミリ：0265-81-1256 E-mail：kangodai-jimu@pref.nagano.lg.jp	担 当：南信工科短期大学校 電 話：0265-71-5051 ファクシミリ：0265-72-2064 E-mail：nanshinkotan@pref.nagano.lg.jp
担 当：南信発電管理事務所 電 話：0265-72-6121 ファクシミリ：0265-78-8050 E-mail：nanhatsu@pref.nagano.lg.jp	